

## 事項八 石井・ラシング協定廢棄問題

三四七 一月六日（着） 在米國佐分利臨時代理大使ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

石井・ラハハケ協定廢棄ニ閣スル米側回答

覚書ニ対スル措置振ニシキ請訓ノ件

別電一 在米國佐分利臨時代理大使発内田外務大臣宛一

月六日着電報第四号

米國國務長官ヨリノ回答覚書

II 同一月（日付不明）第五号

右ニ閣スル公表文書案

第三号

貴信頼、一、機密第一六号我方ノ覚書ニ対ノ國務省ヨリ  
月二一日付電第四号覚書ヲ送付シ来リ更ニ翌二日國務長官  
ノ本官ノ來訪ヲ求メテ別電第五号ノ公表文書ヲ示シ且龍回  
令記ノ時ニ同シク論議ノ種ヲ尋カサル様致度申添タル  
ニ付本官ハ然ラバ可成説明ヲ簡単ニシテ西國何ノリ於トヤ  
論議ノ機會ヲ作ニヤル様 The American and Japanese  
Government ハ前ヘ it has appeared to 及其後ヘ that  
ミニ the two Governments 迄ノ削除シテノ如可ニ述シタ

八「ムード」氏ハ異存ナキ回答ヘタリ依テ帝国政府ニ  
稟申ノ上何分ノ義確答スヘキ旨述ヘ置キタリ就テハ（一）右  
米國ノ回答覚書ヲ以テ本件彼我ノ往復ヲ完了セルモノト認  
メ差支ナキヤ（二）公表文ハ前記ノ趣旨ニテ差支ナキヤ（三）  
日米両国同時ニ公表スベキ日取り御回示アリタシ  
(別電一)  
在米國佐分利臨時代理大使発内田外務大臣宛一月六日着電報

第四号

The Secretary of State is happy to acknowledge  
the receipt of the memorandum of December 28, 1922,  
in which the Japanese Chargé d'Affaires communicated  
the fact that his Government would gladly agree to  
the cancellation of the correspondence of November 2,  
1917, between Mr. Lansing and Viscount Ishii, if that  
course should be preferred by the American Govern-  
ment, and in connection with a reference to the partic-  
ular degree of concern in the affairs of China which

Japan feels by reason of the relative geographical situations of the two countries, confirmed the fact that Japan has in view no claim to special rights or privileges prejudicial to China or to any foreign nation.

In view of the more recent and authoritative formulation of principles and policies with respect to China, arrived at the Washington Conference, and incorporated in the conclusions of that Conference, it appears to the American Government that it would be desirable to remove any possibility of ambiguity arising from the phraseology of the Lansing-Ishii notes; and the two governments have accordingly agreed to consider the Lansing-Ishii correspondence of November 2, 1917, as cancelled and henceforth of no further force of effect.

三四八 一月十八日 在米國佐分利臨時代理大使宛（電報）  
石井・ラハハケ協定廢棄ニ閣ハ米側ノ回答  
覚書ニ対スル措置振ニシキ回覆ノ件

第一回電

貴電第三号ノ閣シ

丁及丁ニ御来示ノ通リテ差支無シ既ニ協定ノ廢棄ハ米國回  
答ノ日付ヲ以テ行ハルルノト勿論ナルガ廢棄ト公表等ノ問

ニ可成時日ノ間隔ナカラシムルノト望マシキ次第付米國  
政府ニシテ異存ナキニ於テ下記ノ事情ニ顧ミ米國ノ回答  
ハ九國條約ノ効力発生後ト致度而シテ公表ノ日取ヘ現レ  
於ケル我内政上ノ關係ト公表文ニ九國條約及ヒ付帶決議等

第五號

In view of the more recent and authoritative formulation of principles and policies with respect to China, arrived at in the Washington conference and

## 八 石井・ランシング協定廃棄問題 三五九

四二〇

ヲ引用シ居ルトニ鑑ミ同条約ノ効力發生後即チ批准寄託完了後トシ度キニ付右可然米国政府へ交渉アリ度シ尚ホ目下公表ニ適當ナラサルコトハ在本邦米国大使ニ於テモ同感ヲ表シ居レリ御参考迄

三五九

一月二十一日(着) 在米國佐分利臨時代理大使ヨリ

石井・ランシング協定廃棄ニ関シ公表延期方

ヲ國務長官ニ申入ノ件

第三八号

貴電第二四号ニ関シ一月十九日國務長官ニ面会我カ内政ノ關係上協定廃棄ヲ公表スルコト適當ナラサルコト(米国大使同意見ノ旨付加セリ)公表文ニ鑑ミルモ九国条約効力發生後協約ノ破毀ヲ為スラ至当トルコト及破毀ト其ノ公表トノ間ニ成ルヘク間隔ナカラシムルノ望マシキコト等程良ク説明ノ上米国回答ヲ九国条約批准寄託後迄延期セラルレハ極メテ好都合ナル旨ヲ申入レタルニ同長官ハ我カ内政上ノ事情ニ付テハ充分同情ヲ表スル次第ナルモ本件決定ハ一月二日付米国回答ニ拠リ無効ニ帰シタルモノナルヲ以テ今更如何トモ為シ難ク尤モ幾分公表ヲ延期スルコトハ差支ナ

國ニ於テ之ニ同意セラルルコトトル得サルヤト謂ヘルモ長官ハ米国ノ回答ハ確定のニ協約ヲ廢棄セシメタルヲ以テ右ノ如キ案ヲ採用スルノ余地無カルヘシト謂ヘリ右ノ次第ニシテ本官トシテハ出来得ル限リヲ尽シタルモ廢棄ノ時日ヲ遅延スルコトハ到底見込ナク公表遲延ニ付テハ國務長官ニ於テモ異議ナキ次第ナルカ果シテ何時迄遲延シ得ヘキヤニ付テハ國務長官ニ於テモ未タ的確ノ意見無ク更ニ話合ノ上決定ヲ要セラルルニ付何分ノ儀御回電アリタシ

三六〇 二月三日

内田外務大臣ヨリ  
在米國佐分利臨時代理大使宛(電報)

石井・ランシング協定廃棄ノ公表延期ヲ米國

側承諾ノ件

第五〇号

貴電第三八号ニ関シ

過日在本邦米国大使來訪ノ際本大臣ハ石井「ランシング」協定廃棄ノ件ニ關シ本協定ノ廃棄ハ今議會終了後若ハ九国条約効力發生後迄延期スルコトニ米国政府ニ於テ同意セラレ度尚貴説ニ依レハ「ヒューズ」氏ハ本協定ハ最近行ハレタル彼我ノ往復ニ依リ既ニ無効ニ帰シ居ルトノ意見ナルヤ

八 石井・ランシング協定廃棄問題 三六〇 三六一

カルヘシト思考ス尚本件破毀ヲ決定セサレハ支那ニ関スル約定通告ノ手続ヲ了スルコト能ハス然ルニ右通告ハ九国條約批准交換迄延期スルヲ得スト答ヘタリ依テ本官ハ重不テ

ヲ力説シ更ニ華府會議ノ条約及決議ノ成立ヲ以テ公文廃棄ノ理由トスルニ拘ハラス同條約効力ヲ生セサルニ先チ本件廃棄ヲ行フハ不都合ナリトノ批難有ルヘキ旨ヲ述ヘタルニ長官ハ九国条約ハ日英両国及米国上院ノ批准ヲ得タル以上仮令批准交換前ト雖石井「ランシング」協定ニ比シmore authoritative formulation of principlesト謂ヒ得ヘ

シト述ヘタルニ付本官ハ此ノ論必スシモ同意シ兼ヌル旨答ヘタルニ長官ハ公表文ノ文句ヲ修正スルニ異議ナシト謂ヘリ尚長官ハ頻リニ支那ニ関スル約定通告ノ必要ニ言及シニ付テモ多少応答シタルニ長官ニ於テハ我カ事情ヲ諒トセサルニ非サルモ我方ノ希望ニ応スルノ色ナシ依テ本官ハ最後ニ本官一個ノ当座ノ思付トシテ多少無理ノ点ナキニ非サルモ仮ニ一月二日付米国ノ回答ニ対シ日本側ヨリ更ニ『両國愈々破毀ノコトニ意見一致シタルニ付實際破毀ノ時期ハ九国条約効力發生ノ日トスヘシ』トノ趣旨ノ書面ヲ送リ米

ニ思ハルル処右意見ニハ異存ナキモ廢棄ノ時日ト公表ノ時日トノ間ニ余リ長キ期間ヲ存セシムルハ面白カラサルニ付今議會終了後若ハ九国条約發生後廢棄スルコトトシ同時ニ公表シテハ如何ト申述ヘタルトコロ米大使ハ公布ノ際廢棄ノ日付ヲ明記セスシテ為スコトシテハ如何トノコトニ付同意シ置キタル処一月二十八日同大使出發ノ際右本国政府ニ電報シ置キタル処「ヒューズ」氏ヨリ日本ノ希望全部承諾ノ旨回電アリタル旨語レリ就テハ本件ハ右ニ依リ措置スル考ニ付御承知置アリ度シ

三六一 三月三十日

内田外務大臣ヨリ  
在米國國境原大使宛(電報)

石井・ランシング協定廃棄ニ関シ國內手続

上暫ク発表延期交渉方訓令ノ件

第一四〇号

貴電第一九七号ニ関シ

石井「ランシング」協定ノ廃棄方ニ付テハ御承知ノ通最近日支郵便約定ニ付枢密院トノ間ニ重大ナル問題ヲ惹起シタル經緯アルニ鑑ミ確定的廃棄方及公表方ノ措置ヲ執ル前予メ上奏及枢密院ニ報告スル等ノ手続ヲ執ルノ必要ナルコト

ヲ発見シタルニヨリ至急夫々右等手続ヲ取運フヘキニ付貴官ハ大至急米国政府ニ対シ前記ノ事情ヲ篤ト御説明ノ上暫ク公表見合セ方交渉ヲ遂ケラレタク若シ新聞紙ニ漏レタル場合ニモ米国政府トシテノ公表ハ是非共見合ハス様申入レラレ結果電報アリタシ

三六一 三月三十日（着） 在米國埴原大使（ヨリ） 内田外務大臣宛（電報）

**石井・ランシング協定ノ廃棄ニ関シ公表期日  
及ビ発表案文ニツキ請訓ノ件**

第一九七号

往電第一八三号ニ関シ三月二十七日極東部長ハ佐分利ノ來訪ヲ求メタル上A・P・ハ帝国議会閉会ニ付予テ東京ヨリ得タル報道ヲ二十八日朝發表スルコトナルモ在本邦米国代理大使ハ未タ内田大臣ヨリ発表案ニ付回答ヲ得サルニ付尚一両日発表見合ハス様折角説得中ナルカ果シテ成効スルヤ否明ナラス万一発表セラル場合ニハ予テ申進セシ通り米国政府ハ原ノ案ニテ発表スル外ナカルヘシト云ヘリ右ニ関シ佐分利ハ自分ハ勿論大使ハ於テモ米国ノ公表ニ対シ同意ヲ表シ得ルノ地位ニアラサルハ御推察ノ通リナリ唯当地

三六四 三月三十一日（着） 在米國埴原大使（ヨリ） 内田外務大臣宛（電報）

**石井・ランシング協定廃棄公表ヲ暫時見合セ**

方申入レノ件

第二〇六号

三月三十日午後一時國務長官ニ面会御来訓ノ趣旨ヲ説明シ

右ハ帝国政府ニ於テ該協約廃棄ノ決定ヲ翻サムトスルニハアラス国内法制上ノ手続問題ナル旨ヲ述ヘ暫時公表見合セ方申入レタル処長官ハ新聞紙ノ方ハ何レヨリカ本件ニ関スル報道ヲ入手シ居リ國務省ノ尽力ニ拘ハラス既ニ之ヲ「レリース」シアルニ付如何トモ致シ難ク從テ自分カ本日新聞記者トノ会見ニ於テ右報道ニ関シ質問ヲ受ケタル場合之ヲ「デナイ」スルコトハ不可能ナレハ單ニ I am not in a position to make any comment about it ト云フニ止ムヘ

シト答ヘタルニ付本使ハ右ニテ帝国政府ハ満足スヘシト述ヘ置ケリ長官ノ態度ハ極メテ好意的ニ見受ケラレタリ

三六五 三月三十一日（着） 在米國埴原大使（ヨリ） 内田外務大臣宛（電報）

**石井・ランシング協定廃棄ニ関スルA・P・**

八 石井・ランシング協定廃棄問題 三六四 三六五

ノ事情ハ東京ニ電報シ在本邦米国大使ヘ回答方至急取計フ様稟請スヘキニ付免モ角今暫クA・P・ノ発表ヲ見合ハサシムル様精々御尽力ヲ願フノ外ナント答ヘタリ夫ヨリ極東部長ハA・P・ノ代表者ヲ招キテ懇談ヲ遂ケタル結果右代表者ハ二日間発表延期ヲA・P・ノ主任ニ申入ルルコトトナリタリ

右ノ次第ニテ此上発表ヲ延期セシムルコトハ不可能ト認メラルニ付事情御諒察ノ上本件至急御詮議ノ上結果當方ヘモ御電報アル様致シタン尚A・P・ニ対シテハ発表ノ場合ニハ同社ヲ先ニシ其前ニハ他ニ洩ラザルコトヲ國務省及当館ニ於テ約束シ置キタルニ付併テ御含ミアリタシ

三六三 三月三十一日（着） 在米國埴原大使（ヨリ） 内田外務大臣宛（電報）

**石井・ランシング協定廃棄発表ヲ一時見合セ**

タル旨報告ノ件

第二〇五号

往電第二〇四号及貴電第一四〇号ニ関シ國務長官ト別電第二〇六号報告ノ通リ本日午後ノ新聞記者会見ニ於テ本件ヲ発表スルコトハ之ヲ見合セタリ取急キ右ノミ電報ス

**発表文要領報告ノ件**

別電

在米國埴原大使堯内田外務大臣宛三月三十一日着

電報第二〇九号

右発表文要領

第二〇八号

往電第二〇六号ニ関シ

A・P・発表ノ要領ハ別電第二〇九号ノ通リニテ三十日夕刊ニ掲載セラレタリ尚同日午後ノ國務長官ノ新聞記者接見ニハ同長官ハ出席セス「フィリップス」次官ヲ出席セシメタルカ同次官ハ本件ニ関シテハ肯定モ否定モ為シ得スト述ヘタル趣ナリ

（別電）

在米國埴原大使堯内田外務大臣宛三月三十一日着電報第二〇九号

石井・ランシング協定廃棄ニ関スルA・P・発表文要領

第二〇九号

今般日米両国ノ諒解成リ石井「ランシング」協定廃棄セラタルカ右ハ華府會議ノ九国條約ノ結果ニシテ支那ニ於テ門戸開放機会均等ノ主義ヲ益々有効ニ適用スルコトヲ得セシムルモノト認メラル即チ九国條約ヲ以テ同協定ニ代フル

コトニ依リ支那ニ於ケル日米利益ノ同等ナルコトヲ承認スルト同時ニ從来争議ノ種トナリ居リタル右協定ヲ廃棄シタル次第ナリ此交渉ハ東京ニ行ハレタル処ニシテ「ワーレン」大使ノ外交上ノ功績ノ一ト数ヘラルト評シ進デ石井「ランシング」協定成立ノ事情ヲ述べ右ハ支那ニ関シ日米両国間ニ現存スル「ルート」高平協約等ヨリ生スル一切ノ疑義ヲ解決スル点ニ於テ当國政府筋ニ於テモ歓迎セラレ居レリト報シ次ニ先般大統領ガ右協定ニ関シ上院ニ与ヘタル陳述書ニ於テ華府會議ノ結果石井「ランシング」協定ノ文書ニ関スル疑義ヲ考慮スル必要ヲ認メザルヲ欣幸トス九国条約ハ米国ノ対支政策ノ生命ナリト謂ヘルヲ引用シ居レリ

三六六 三月三十一日 内田外務大臣ヨリ

石井・ランシング協定廢棄期日ニツキ米國政

府ト交渉方訓令ノ件

第一四三号

往電第一四〇号ノ通り石井「ランシング」協定ハ廃棄確定ニ先チ上奏及枢院ニ報告ノ必要アル処貴電第三八号ニ拠レハ「ヒューズ」ハ米国向覚書ノ日付即チ一月一日ヲ以テ本

第一四八号

於テハ直チニ上奏及報告ノ手続ヲ執ルヘク其終了ヲ俟ツテ右廢棄ニ關スル公文交換ヲ了シ同日両政府ヨリ右交換公文全文ヲ公表スルコト致度シ  
右交渉ニ對シ米国政府ハ或ハ多少ノ疑惧ヲ感スヘキモ本件ニ閑スル彼我交渉ノ結果カ上奏ニ依リ覆サルルカ如キコトハ絶対ニ無之要スルニ右我方提案ハ單ニ形式ノ問題ニ過キサルニ付其ノ辺ハ篤ト説明シ置カレ度シ実ハ今日ニ至リ斯ル交渉ヲ為スハ我方トシテ甚タ心苦シキ次第ナルモ前電ニテモ申進シタル通り日支郵便約定問題以来対枢密院関係頗ル機微ノ状態ニ在リ事情詢ニ已ムヲ得サルモノアルニ付別電訳文ハ貴方ニ於テ適宜作成アリタン

三六七 三月三十一日 内田外務大臣ヨリ  
在米國植原大使宛（電報）  
九国条約ヲ基礎トスル新協定成立セリトノ報  
道ノ出所査報方訓令ノ件

第一四三号

石井「ランシング」協定廃棄ニ關スル本日朝刊紙記載ノA・P・通信ハ往電第二〇九号夕刊紙所報ノモノト多少形ヲ変ヘ其冒頭ニ日米両国間ニ廃棄ノ諒解成立シタルヲ以テ近ク両国政府ニヨリ正式ニ公表セラルヘントナル外ハ夕刊ノ分ト大同小異ナリ「ウォールド」ハ本件カ未タニ祕密扱セラル所以ハ支那カ二十一ヶ条ノ廃棄要求ヲ為セル此際本件廃棄ノ公表日本側ニ於テ欲セサルニ依ルヘント信セラレ居ル旨將又本件ニ關スル諒解成立ノ遲延ハ日本側ニ於テ

本件協定ニ代ハルヘキ何等形式的約定ヲ要シタル内政上ノ事情ニ基クモノナリトモ信セラル旨ヲ伝フ「ボースト」ノ「フォックス」ハ石井「ランシング」協定ト二十一箇条トカ齊シク「スペシャル・インテレスト」ノ問題ニ係ルコトヲ述へ以テ本件廃棄ニ関スル報道カ日本政府ニ於テ公表ヲ困難トスル時機ニ伝ヘラレタルコト並本件廃棄カ華府条約ノ精神ノ認メタルモノナルニ顧ミ本件廃棄ノ公表ハ贓テ二十一箇条ノ廃棄モ亦華府条約ノ精神ニ照ラン認メラルヘントナス支那ノ要求ヲ益々支持スルニ好都合トナルニ至ルヘキヤニ信セラレ居ルコトヲ述へ居レリ「タイムス」ハ國務省ニ於テ本件廃棄ニ関スル言明ヲ憚レル所以ハ本件累次ノ公表ニ付テハ関係国ニ於テ特定日ニ同時ニ発表セムトスル実例ノ「アンダースタンディング」ニ依ルモノカト推察セラル旨ヲ掲ケ尚「パブリック・レジャー」ハ本件廃棄ニ関スル取極ノ原案ニハ各条約ノ調印國カ批准ヲ完了スル迄ハ廢棄ヲ公表セサルコトヲ規定シ居タリト信セラル所現ニ仏國及葡萄牙カ之ヲ為シ居ラサルコトヲ掲ケ居レリ本件ニ関シ紐育「トリビューン」ハ其論説ニ於テ華府會議以来已ニ實際上死滅セル協定ヲ形式的ニ葬リ去リタルモノナル

カ齊シク「スペシャル・インテレスト」ノ問題ニ係ルコトヲ述へ以テ本件廃棄ニ関スル報道カ日本政府ニ於テ公表ヲ困難トスル時機ニ伝ヘラレタルコト並本件廃棄カ華府条約ノ精神ノ認メタルモノナルニ顧ミ本件廃棄ノ公表ハ贓テ二十一箇条ノ廃棄モ亦華府条約ノ精神ニ照ラン認メラルヘントナス支那ノ要求ヲ益々支持スルニ好都合トナルニ至ルヘキヤニ信セラレ居ルコトヲ述へ居レリ「タイムス」ハ國務省ニ於テ本件廃棄ニ関スル言明ヲ憚レル所以ハ本件累次ノ公表ニ付テハ関係国ニ於テ特定日ニ同時ニ発表セムトスル実例ノ「アンダースタンディング」ニ依ルモノカト推察セラル旨ヲ掲ケ尚「パブリック・レジャー」ハ本件廃棄ニ関スル取極ノ原案ニハ各条約ノ調印國カ批准ヲ完了スル迄ハ廢棄ヲ公表セサルコトヲ規定シ居タリト信セラル所現ニ仏國及葡萄牙カ之ヲ為シ居ラサルコトヲ掲ケ居レリ本件ニ関シ紐育「トリビューン」ハ其論説ニ於テ華府會議以来已ニ實際上死滅セル協定ヲ形式的ニ葬リ去リタルモノナル

### 三六九 四月五日（着） 石井・ランシング協定廃棄手続ニ關シ米国國務長官ト折衝ノ件

元來華府条約ハ「テクニカリ」ニハ（脱）迄効力ヲ發生セサルニ若シ右条約中石井「ランシング」協定ニ抵触スルモノアリトセハ日米両國全權ハ右条約調印ニ依リ夫々該協定破棄ノ行為ニ出テタルモノト解スヘク從テ米国政府トンテハ已ニ廢棄セラレタルモノニ尚何等カノ意義ヲ存続シタルカ如キ推論ヲ生シ得ル行為ニ賛成スル能ハス又若シ條約カ該協定以上ニ主義政策ヲ明確ニシタルモノナリトセハ該協定存続ノ要ナカルヘシ就テハ單ニ cancelled ムシ as of

this dateノ四字ヲ削除スルモ一案ナルヘシト云くルニ付本使ハ然ラバ何レノ日ヲ以テ該協定廃棄サレタルモノト看做ス趣旨ナリヤト反問シタルニ長官ハ両国政府カ華府會議ニ

於テ到達シタル諒解ニ鑑ミ意見交換ノ結果該協定ヲ廃棄シ差支ナシト決シタル以上其華府會議後ノ何レノ日ヨリ廃棄セラレタルヲ云為スル要ナキニアラスヤトノコトニ付本使ハ若シ改テ前記ノ如キ公文交換ニ至ル場合右公文ノ日付ハ上奏及枢密院御諮詢ノ手続終了後トスルコト我方ニ取り是非共必要ナリト述ヘタルニ自分ハ能フ限リ日本政府ノ便宜ニ叶フ様取計フ積リナルモ石井「ランシング」協定カ其日迄何等カノ意義ヲツクシテ存続シタルカ如ク解セラル行訪ヲ求ムヘシトノコトニ付本件協議ノ迅速決定ハ帝国政府ノ切望スル所ナル旨ヲ述ヘテ別レタリ

第二二二一號  
右交換公文案

第二二二一號

往電第二二五号ニ關シ四月四日國務長官ハ本使ノ來訪ヲ求メ成ルヘク帝国政府ノ便宜ニ副ハムカ為メ案出シタリトテ別電第二二三号往復案文ヲ示シタルニ付本使ハ一読ノ上自分ニハ之ニテ大体差支ナキ様思ハルモ帝国政府ニテハ或ハ in the light of 以下 of that conference 追ノ代ハリニ單ニ in the light of the understanding arrived at by the Washington Conference on the Limitation of Armament トスルコトヲ選アヤモ知レス蓋シ原案ノ如クスルトキハ尚華府条約ハ未タ「テクニカリ」ニハ効力發生セサルニ石井「ランシング」協定ヲ廢棄スルハ早計ナラスヤトノ議論ヲ惹起スル虞アレハナリト述ヘタルニ長官ハ斯ル議論ヲ避クル為メニ特ニ条約ナル文字ヲ避ケタル次第ナルカ若シ帝國政府ニ於テ強ヒテ前記案ヲ記シタントナレハ更ニ考量ス案ヲ添ヘタルモノヲ電報シ回訓ヲ仰クコトニシタシト述ヘタルニ長官ハ異議ナシト答ヘタリ惟ニ先方ノ好意ヲ諒トン

三七〇 四月五日（着） 在米國植原大使（ヨリ）

内田外務大臣宛（電報）

石井・ランシング協定廃棄ニ関スル交換公文

案ヲ米國國務長官ヨリ提示ノ件

別電 在米國植原大使發内田外務大臣宛四月五日着電報

八 石井・ランシング協定廃棄問題 三七〇

四二七

此際快々長官ノ案其儘リ同意セハルルト本件協議既決リ  
利アルク此上彼是字句ノ修正ヲ提起スルハ無用ノ譲讓ヲ  
誘起スル虞アリ何分ノ義至急御回電ヲ請フ尙往電第1041

号ノ件ハ長官ニ於テ急キ居ル模様リ付至急御回電トニタシ  
(電報)

在米国埴原大使発内田外務大臣宛四月五日着電報第11111印  
右交換公文案

Tentative draft of note from the Secretary of State  
to the Japanese Ambassador.

I have the honor to communicate to Your Excellency my understanding of the views developed by the discussions which I have recently had with your Embassy in reference to the status of the Lansing-Ishii exchange of notes of November 2, 1917.

The discussions between the two Governments have disclosed an identity of views and, in the light of more recent formulation of principles and policies with respect to China, arrived at by the Washington Conference on the limitation of armament, and incorporated in the conclusions of that conference, the American and Japanese Governments are agreed to consider the Lansing-Ishii correspondence of November 2, 1917, as cancelled

the Lansing-Ishii correspondence of November 2, 1917, as cancelled and of no further force of effect.  
Accept, and etc.

内田外務大臣ヨリ  
在米国埴原大使宛(電報)

石井・ラシング協定廢棄ニ関スル交換公文

方語令ノ件

第一七二印

貴電第11111及11111号ニ閑ハ

「ラシング」対案ハ其ノ精神ニ於テハ我方提案ト特ニ異ナル處ナキモノノ如クナルモ元来我方提議ノ理由ハ専ラ形式上ノ問題ニテ内政關係上枢密院ニ諮詢ノ手続ヲ要スル処同院最近ノ空氣ハ貴官御熟知ノ通ニテ輒モスレハ辞句其ノ他枝葉ノ点ニ就キ種々ナル議論ヲ惹起スルノ虞アリ從テ円滑迅速ニ同院ヲ通過セシムルリ付テハ特ニ辞句ノ簡潔且漠然タルヲ尚フ次第ナリ然ルリ「ラシング」案 in the light of以下 of that conference ハテハ貴官、「ラシング」リ対スル説明ノ理由ハ外ニ或ハ反対論者ラシテ華府會議ニ於

and of no further force of effect.  
I shall be glad to have your confirmation of the accord that reached.

Accept, and etc.

Tentative draft of note from the Japanese Ambassador to the Secretary of State.

I have the honor to acknowledge the receipt of your note of to-day's date, communicating to me your understanding of the views developed by the discussions which you have recently had with this Embassy in reference to the status of the Lansing-Ishii exchange of notes of November 2, 1917.

I am happy to be able to confirm to you, under instructions from my Government, your understanding of the views thus developed, as set within the following terms:-

The discussions between the two Governments, have disclosed an identity of views and, in the light of the more recent formulation of principles and policies with respect to China, arrived at by the Washington Conference on the limitation of armament, and incorporated in the conclusions of that conference, the American and Japanese Governments are agreed to consider the American and Japanese Governments are agreed to consider

新ナル主義原則樹立ヤラン為ニ石井「ラシング」協定ハ廢棄ヲ見ルリ在ノリトノ解釈ヲ為ヘノ余地ヲ与ベ無用ノ議論ヲ惹起シ延テ從來存在スル他ノ主義原則モ華府會議ノ結果更ラ加ベラルベシトノ物論ヲ釀成スルノ虞無シトセ素ヨリ右ノ如キ見解ノ譯ノルハ申ス迄セ無之九国條約成立ノ經緯ニ微スルモ極メテ明白ナル次第ナルモ如上無用ノ論議ヲ防止シ本件ヲ迅速ニ決スルノ見地ヨリ放フルモ是非共貴官修正案ニ対シ米国政府ノ同意ヲ求メタキ希望ナリ就テ枢密院ニ対シテハ石井「ラシング」協定ハ其ノ主タル動機タル有害ナル風説ヲ一掃スルニ成功シタルノミナラス同協定ニ含蓄セラルル主義及精神ハ千九百二十年對支新借款团組織ニ当リ一層明確且具体的ニ表明セラレ次テ華府會議ニ於テ成立セル九国條約ニ於テモ更ニ大体同一ノ趣旨精神宣明セラルルニ至レル處一面ニ於テ本協定ノ使命力公明正大ナルニ拘ハラス之ヲ以テ或ハ日本ノ勢力範囲設定ヲ認ムルモノナリトシ或ハ我特殊利權ニ対スル何等カノ主張ヲ包含スルモノナリトノ誤解ヲ有スルモノ無キニ非ス旁々本協定カ已ニ其ノ使命ヲ完ウシタルラ機トシ米国政府ノ提議ニ応シ廢棄方ヲ庇諾シタル次第ナル旨説明スル筈ナルニ付

貴官ハ其辺ヲモ御含ノ上我方提議カ専フ内政関係ニ基ク形式上ノ問題ニ外ナラサルコトヲ重ネテ篤ト敷衍説明ノ上「ヒューズ」ノ諒解ヲ求メ枉ケテ貴官修正意見通同意ヲ得タル御懇談ノ末結果電報アリタソ尚ホ右修正意見ノ同意ヲ得タル上公文交換実行前予メ枢密院ノ諮詢及上奏ノ手続ヲ了スル筈ニ付其辺モ併セテ御含置アリタシ

## 三七二 四月七日 閣議決定

## 石井・ランシング協定廃棄ニ関スル件

付属書乙号 米国政府提示ノ右協定廃棄ニ関スル公表案  
丙号 右公表案ニ対スル我方対案  
丁号 我方対案ニ対スル米国政府提議ノ交換公文

戌号 我方作成ノ彼我両案折衷案  
案

客年五月四日米国政府ヨリ日米両国政府ノ合意ヲ以テスル石井ランシング交換公文ノ廃棄ニ関シ帝国政府ノ意見ヲ求メ来レルヲ以テ帝国政府ニ於テハ此際強テ本協定ノ廃棄ニ反対スルノ必要ナント認メ客年八月二十九日付属書甲号<sup>(註)</sup>ノ通り外交調査会ノ決定ヲ経爾來其ノ趣旨ニ依リ主トシテ廃棄ノ時期及形式ニ関シ米国政府ト折衝ヲ累ネ来レル處時会

々千八百九十八年露支條約ニ基ク関東州租借期限満了ニ迫リ支那一部ノ民論漸ク高調ニ達シ將ニ熱狂的運動ヲ開カレムトスルノ兆アリ然ルニ若シ之ト同時ニ石井「ランシング」協定ノ廃棄ヲ公ケニスルニ於テハ自ラ支那民論ヲ煽り徒ニ物論ヲ滋カラシムル虞アリ如斯ハ國際關係ノ大局ヨリ見ルモ頗ル策ノ得タルモノニアラスト認メタルヲ以テ一時交渉ノ遷延ヲ計リ居タル処本年三月ニ至リ米国政府ハ日本間ニ本協定廃棄ニ関スル交渉アルコト外部ニ漏洩シタル形迹アルニ付至急廃棄ノ手続ヲ執リ度シトノ趣旨ヲ以テ付属書乙号ノ如キ本協定廃棄ニ関スル公表案ヲ我方ニ呈示シ來レリ

右ニ対シ我方ニ於テハ更ニ公文ヲ交換シテ廃棄ノ協定ヲ遂ケ之ヲ公表スルコトトシ度キ趣旨ニテ付属書丙号ノ対案ヲ作成シ之ヲ米国政府ニ提議シタルニ米国政府ヨリ更ニ別添丁号ノ交換公文案ヲ提議シ來レル処右ハ前記我提案ト相違スル所アルモ他方日本間ニ此種交渉アルコト三月三十日以來遂ニ外間ニ暴露シ新聞紙ニ論評セラルニ至レルヲ以テ此上更ニ廃棄手続ヲ遷延スルハ面白カラサルニ付此際に上奏御裁可ノ手続ヲ経タル上彼我両案折衷セル付属書戌号案ノ

趣旨ニ依リ公文ノ交換ヲ了シ之ヲ以テ本協定ヲ廃棄スルコトト致度

編註 「付属書甲号」ハほぼ同文ガ日本外交文書大正十一年第三冊(文書番号五六五、六三四頁下段十行十字目マデ)  
ニ掲載サレテイルノデ省略

(付属書乙号)

乙号(訳文)

覚書

華府會議ニヨリ到達セラレ且右會議ノ決定中ニ包含セラルル支那ニ関スル主義及政策ニ関スル最近ノ更ニ權威アル表示ニモ鑑ミ合衆国及日本國政府ハ茲ニ千九百十七年十一月二日ノ「ランシング」石井公文ハ廃棄セラレ且今後何等ノ効力ナキモノト看做スコトニ合意ス

(付属書丙号)

丙号(訳文)

米国國務卿ヨリ駐米日本大使宛公文案

以書翰致啓上候陳者千九百十七年十一月二日ノ所謂ランシング石井交換公文ニ関シ最近貴我兩国政府ノ間ニ意見ノ一  
致ヲ見タル所ヲ茲ニ閣下ニ通報スルノ光榮ヲ有シ候

ランシング石井交換公文ハ當時流布セラレタル有害ナル

(左記ハ國務卿來信案所載ノモノト同様)

本使ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

(付属書丁号)

丁号(訳文)

米国國務卿ヨリ日本大使宛公文試案(仮訳文)

以書翰致啓上候陳者千九百十七年十一月二日ノ「ランシ

グ」石井交換公文ノ地位ニ関シ最近本官ト貴大使館トノ間ノ商議ニ依リ到達セル見解ニ関スル本官ノ了解ヲ茲ニ閣下ニ通報スルノ光榮ヲ有シ候

両国政府間ノ商議ハ意見ノ一致ヲ見タリ而シテ軍備制限ニ関スル華府会議ニ依リ到達セラレ且右会議ノ決定中ニ包含セラル支那ニ関スル主義及政策ニ関スル最近ノ表示ニモ鑑ミ合衆国及日本国政府ハ千九百十七年十一月二日ノ「ランシング」石井交換公文ハ廃棄セラレ且今後何等効力無キモノト看做スコトニ合意ス

本官ハ右合意ニ對シ閣下ノ確認ヲ得ンコトヲ希望致候

日本大使ヨリ米国國務卿宛公文試案(仮訳文)

本官ハ茲ニ閣下ニ向ヒテ敬意ヲ表シ候 敬具

日本大使ヨリ米国國務卿宛公文試案(仮訳文)

以書翰致啓上候陳者千九百十七年十一月二日ノ「ランシング」石井交換公文ノ地位ニ関シ最近閣下ト本大使館トノ間ノ商議ニ依リ到達セル見解ニ関シ閣下ノ了解セラル所ヲ

本日付貴翰ヲ以テ御通報相成致敬承候

茲ニ本国政府ノ訓令ニ基キ閣下ニ向ッテ左記ノ通右了解ヲ確認スルヲ得ルハ本使ノ欣幸トスル所ニ有之候

両国政府間ノ商議ハ意見ノ一致ヲ見タリ而シテ軍備制限兩国政府間ノ商議ハ意見ノ一致ヲ見タリ而シテ軍備制限

本官ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

日本大使ヨリ米国國務卿宛公文試案(仮訳文)

以書翰致啓上候陳者千九百十七年十一月二日ノ「ランシング」石井交換公文ノ地位ニ関シ最近閣下ト本大使館トノ間ノ商議ニ依リ到達セル見解ニ関シ閣下ノ了解セラル所ヲ本日付貴翰ヲ以テ御通報相成致敬承候

茲ニ本国政府ノ訓令ニ基キ閣下ニ向テ左記ノ通右了解ヲ確認スルヲ得ルハ本使ノ欣幸トスル所ニ有之候

両国政府間ノ商議ハ意見ノ一致ヲ見タリ而シテ軍備制限ニ関スル華府会議ニヨリ到達セラレタル了解ニモ鑑ミ合衆国及日本国政府ハ千九百十七年十一月二日ノ「ランシング」石井交換公文ハ廃棄セラレ且今後何等効力無キモノト看做スコトニ合意ス

本使ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

ノト看做スコトニ合意ス

本使ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

三七三 四月八日（着） 在米國植原大使（電報）  
内田外務大臣宛（電報）

石井・ランシング協定廃棄ニ関スル交換公文  
ノ我方修正案ニ國務長官同意ノ件

第一二三〇号

三七四 四月十一日 在米國植原大使（電報）  
内田外務大臣宛（電報）

石井・ランシング協定廃棄ニ関スル交換公文  
ノ字句修正ニ関シ指示ノ件

八 石井・ランシング協定廃棄問題 三七三 三七四

ニ関スル華府会議ニヨリ到達セラレ且右会議ノ決定中ニ包含セラル支那ニ関スル主義及政策ニ関スル最近ノ表示ニモ鑑ミ合衆国及日本国政府ハ千九百十七年十一月二日ノ「ランシング」石井交換公文ハ廃棄セラレ且今後何等効力ナキモノト看做スコトニ合意ス

本使ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

（付属書成号）

成号（訳文）

米国國務卿ヨリ日本大使宛公文試案(仮訳文)

以書翰致啓上候陳者千九百十七年十一月二日ノ「ランシング」石井交換公文ノ地位ニ関シ最近本官ト貴大使館トノ間ノ商議ニ依リ到達セラレタル了解ニモ鑑ミ合衆国及日本国政府ハ千九百十七年十一月二日ノ「ランシング」石井交換公文ハ廃棄セラレ且今後何等効力無キモノト看做スコトニ合意ス

本官ハ右合意ニ對シ閣下ノ確認ヲ得ンコトヲ希望致候

本官ハ右合意ニ對シ閣下ノ確認ヲ得ンコトヲ希望致候

尚ホ in the light of the understanding ヶく当時ノ諸条

約語決議並ニ會議記載ノ事項等一切本件ニ関連スルモノ

ヲ包含スル次第ト解スルコト至リテ認メラルニ付若シ折

角ノ談合ヲ逆転セシムルノ虞ナシト御認相成ルニ於テハ可

得出来ベ understanding ハ文字ヲ複数トナス様可然御配慮

アリタシ

尚四月十一日在本邦米国代理大使ヲ招キ交換公文案ヲ手交

ンタル上貴地ニ於テ右交換ヲ終アシタル後一両日ヲ隔テテ

別ニ政府公表文ヲ添付スルコトナク單ニ交換公文ノミヲ公

表スルコトトシ度旨並ニ米国政府ニ於テ差支ナクベ un-

derstanding ハ文字ヲ複数トシ度旨述ヘタル処代理大使ハ

自分ノ解釈ニ拠ルバ該文字ハ複数ノ場合ヲモ cover シ居ル

眞答ヘタルニ付御含置アリタク將又申ス迄モナキ次第ナガ

ラ我方ヨリ送ル公文中 Lansing-Ishii exchange of notes

、 Ishii-Lansing exchange of notes 、 The American

and Japanese Governments 、 The Japanese and Ameri-

can Governments ハ記出ヘリタシ

~~~~~

三七五 四月十一日 加藤内閣總理大臣ヨリ

内田外務大臣宛

内閣總理大臣 加藤友三郎

外務大臣伯爵 内田康哉殿

### 指令

大正十二年四月九日条一機密第七一號

石井「ランシング」交換公文廃棄ニ関シ帝国及亞米利加合衆國間ニ公文書交換ノ件上奏ノ通裁可フ経タリ

(付記)

石井・ランシング交換公文廃棄ニ関スル日米交換公文

米国國務卿ヨリ日本大使宛公文

以書翰致啓上候陳者千九百十七年十一月二日ノ「ランシング」石井交換公文ノ地位ニ關シ最近本官ト貴大使館トノ間

ニ行ハレタル商議ニ依リ達成シタル見解ニ付本官ノ了解ハ

閣下ニ通報スルノ光榮ヲ有シ候

石井・ランシング交換公文廃棄御裁可ノ件

付記 I 石井・ランシング交換公文廃棄ニ関スル日米交換公文

II 右ニ関スル枢密院審査報告書

内閣外甲第一六号

大正十二年四月十一日

尚四月十一日在本邦米国代理大使ヲ招キ交換公文案ヲ手交

ンタル上貴地ニ於テ右交換ヲ終アシタル後一両日ヲ隔テテ

別ニ政府公表文ヲ添付スルコトナク單ニ交換公文ノミヲ公

表スルコトトシ度旨並ニ米国政府ニ於テ差支ナクベ un-

derstanding ハ文字ヲ複数トシ度旨述ヘタル処代理大使ハ

自分ノ解釈ニ拠ルバ該文字ハ複数ノ場合ヲモ cover シ居ル

眞答ヘタルニ付御含置アリタク將又申ス迄モナキ次第ナガ

ラ我方ヨリ送ル公文中 Lansing-Ishii exchange of notes

、 Ishii-Lansing exchange of notes 、 The American

and Japanese Governments 、 The Japanese and Ameri-

can Governments ハ記出ヘリタシ

~~~~~

三七五 四月十一日 加藤内閣總理大臣ヨリ

内田外務大臣宛

内閣總理大臣 加藤友三郎

外務大臣伯爵 内田康哉殿

### 指令

大正十二年四月九日条一機密第七一號

石井「ランシング」交換公文廃棄ニ関シ帝国及亞米利加合衆國間ニ公文書交換ノ件上奏ノ通裁可フ経タリ

(付記)

石井・ランシング交換公文廃棄ニ関スル日米交換公文

米国國務卿ヨリ日本大使宛公文

以書翰致啓上候陳者千九百十七年十一月二日ノ「ランシング」石井交換公文ノ地位ニ關シ最近本官ト貴大使館トノ間

ニ行ハレタル商議ニ依リ達成シタル見解ニ付本官ノ了解ハ

閣下ニ通報スルノ光榮ヲ有シ候

尚四月十一日在本邦米国代理大使ヲ招キ交換公文案ヲ手交

ンタル上貴地ニ於テ右交換ヲ終アシタル後一両日ヲ隔テテ

別ニ政府公表文ヲ添付スルコトナク單ニ交換公文ノミヲ公

表スルコトトシ度旨並ニ米国政府ニ於テ差支ナクベ un-

derstanding ハ文字ヲ複数トシ度旨述ヘタル処代理大使ハ

自分ノ解釈ニ拠ルバ該文字ハ複数ノ場合ヲモ cover シ居ル

眞答ヘタルニ付御含置アリタク將又申ス迄モナキ次第ナガ

ラ我方ヨリ送ル公文中 Lansing-Ishii exchange of notes

、 Ishii-Lansing exchange of notes 、 The American

and Japanese Governments 、 The Japanese and Ameri-

can Governments ハ記出ヘリタシ

~~~~~

三七五 四月十一日 加藤内閣總理大臣ヨリ

内田外務大臣宛

内閣總理大臣 加藤友三郎

外務大臣伯爵 内田康哉殿

### 指令

大正十二年四月九日条一機密第七一號

石井「ランシング」交換公文廃棄ニ関シ帝国及亞米利加合衆國間ニ公文書交換ノ件上奏ノ通裁可フ経タリ

(付記)

石井・ランシング交換公文廃棄ニ関スル日米交換公文

米国國務卿ヨリ日本大使宛公文

以書翰致啓上候陳者千九百十七年十一月二日ノ「ランシング」石井交換公文ノ地位ニ關シ最近本官ト貴大使館トノ間

ニ行ハレタル商議ニ依リ達成シタル見解ニ付本官ノ了解ハ

閣下ニ通報スルノ光榮ヲ有シ候

尚四月十一日在本邦米国代理大使ヲ招キ交換公文案ヲ手交

ンタル上貴地ニ於テ右交換ヲ終アシタル後一両日ヲ隔テテ

別ニ政府公表文ヲ添付スルコトナク單ニ交換公文ノミヲ公

表スルコトトシ度旨並ニ米国政府ニ於テ差支ナクベ un-

derstanding ハ文字ヲ複数トシ度旨述ヘタル処代理大使ハ

自分ノ解釈ニ拠ルバ該文字ハ複数ノ場合ヲモ cover シ居ル

眞答ヘタルニ付御含置アリタク將又申ス迄モナキ次第ナガ

ラ我方ヨリ送ル公文中 Lansing-Ishii exchange of notes

、 Ishii-Lansing exchange of notes 、 The American

and Japanese Governments 、 The Japanese and Ameri-

can Governments ハ記出ヘリタシ

~~~~~

三七五 四月十一日 加藤内閣總理大臣ヨリ

内田外務大臣宛

内閣總理大臣 加藤友三郎

外務大臣伯爵 内田康哉殿

### 指令

大正十二年四月九日条一機密第七一號

石井「ランシング」交換公文廃棄ニ関シ帝国及亞米利加合衆國間ニ公文書交換ノ件上奏ノ通裁可フ経タリ

(付記)

石井・ランシング交換公文廃棄ニ関スル日米交換公文

米国國務卿ヨリ日本大使宛公文

以書翰致啓上候陳者千九百十七年十一月二日ノ「ランシング」石井交換公文ノ地位ニ關シ最近本官ト貴大使館トノ間

ニ行ハレタル商議ニ依リ達成シタル見解ニ付本官ノ了解ハ

閣下ニ通報スルノ光榮ヲ有シ候

尚四月十一日在本邦米国代理大使ヲ招キ交換公文案ヲ手交

ンタル上貴地ニ於テ右交換ヲ終アシタル後一両日ヲ隔テテ

別ニ政府公表文ヲ添付スルコトナク單ニ交換公文ノミヲ公

表スルコトトシ度旨並ニ米国政府ニ於テ差支ナクベ un-

derstanding ハ文字ヲ複数トシ度旨述ヘタル処代理大使ハ

自分ノ解釈ニ拠ルバ該文字ハ複数ノ場合ヲモ cover シ居ル

眞答ヘタルニ付御含置アリタク將又申ス迄モナキ次第ナガ

ラ我方ヨリ送ル公文中 Lansing-Ishii exchange of notes

、 Ishii-Lansing exchange of notes 、 The American

and Japanese Governments 、 The Japanese and Ameri-

can Governments ハ記出ヘリタシ

~~~~~

三七五 四月十一日 加藤内閣總理大臣ヨリ

内田外務大臣宛

内閣總理大臣 加藤友三郎

外務大臣伯爵 内田康哉殿

### 指令

大正十二年四月九日条一機密第七一號

石井「ランシング」交換公文廃棄ニ関シ帝国及亞米利加合衆國間ニ公文書交換ノ件上奏ノ通裁可フ経タリ

(付記)

石井・ランシング交換公文廃棄ニ関スル日米交換公文

米国國務卿ヨリ日本大使宛公文

以書翰致啓上候陳者千九百十七年十一月二日ノ「ランシング」石井交換公文ノ地位ニ關シ最近本官ト貴大使館トノ間

ニ行ハレタル商議ニ依リ達成シタル見解ニ付本官ノ了解ハ

閣下ニ通報スルノ光榮ヲ有シ候

尚四月十一日在本邦米国代理大使ヲ招キ交換公文案ヲ手交

ンタル上貴地ニ於テ右交換ヲ終アシタル後一両日ヲ隔テテ

別ニ政府公表文ヲ添付スルコトナク單ニ交換公文ノミヲ公

表スルコトトシ度旨並ニ米国政府ニ於テ差支ナクベ un-

derstanding ハ文字ヲ複数トシ度旨述ヘタル処代理大使ハ

自分ノ解釈ニ拠ルバ該文字ハ複数ノ場合ヲモ cover シ居ル

眞答ヘタルニ付御含置アリタク將又申ス迄モナキ次第ナガ

ラ我方ヨリ送ル公文中 Lansing-Ishii exchange of notes

、 Ishii-Lansing exchange of notes 、 The American

and Japanese Governments 、 The Japanese and Ameri-

can Governments ハ記出ヘリタシ

~~~~~

三七五 四月十一日 加藤内閣總理大臣ヨリ

内田外務大臣宛

内閣總理大臣 加藤友三郎

外務大臣伯爵 内田康哉殿

### 指令

大正十二年四月九日条一機密第七一號

石井「ランシング」交換公文廃棄ニ関シ帝国及亞米利加合衆國間ニ公文書交換ノ件上奏ノ通裁可フ経タリ

(付記)

石井・ランシング交換公文廃棄ニ関スル日米交換公文

米国國務卿ヨリ日本大使宛公文

以書翰致啓上候陳者千九百十七年十一月二日ノ「ランシング」石井交換公文ノ地位ニ關シ最近本官ト貴大使館トノ間

ニ行ハレタル商議ニ依リ達成シタル見解ニ付本官ノ了解ハ

閣下ニ通報スルノ光榮ヲ有シ候

尚四月十一日在本邦米国代理大使ヲ招キ交換公文案ヲ手交

ンタル上貴地ニ於テ右交換ヲ終アシタル後一両日ヲ隔テテ

別ニ政府公表文ヲ添付スルコトナク單ニ交換公文ノミヲ公

表スルコトトシ度旨並ニ米国政府ニ於テ差支ナクベ un-

derstanding ハ文字ヲ複数トシ度旨述ヘタル処代理大使ハ

自分ノ解釈ニ拠ルバ該文字ハ複数ノ場合ヲモ cover シ居ル

眞答ヘタルニ付御含置アリタク將又申ス迄モナキ次第ナガ

ラ我方ヨリ送ル公文中 Lansing-Ishii exchange of notes

、 Ishii-Lansing exchange of notes 、 The American

and Japanese Governments 、 The Japanese and Ameri-

can Governments ハ記出ヘリタシ

~~~~~

三七五 四月十一日 加藤内閣總理大臣ヨリ

内田外務大臣宛

内閣總理大臣 加藤友三郎

外務大臣伯爵 内田康哉殿

### 指令

大正十二年四月九日条一機密第七一號

石井「ランシング」交換公文廃棄ニ関シ帝国及亞米利加合衆國間ニ公文書交換ノ件上奏ノ通裁可フ経タリ

(付記)

石井・ランシング交換公文廃棄ニ関スル日米交換公文

米国國務卿ヨリ日本大使宛公文

以書翰致啓上候陳者千九百十七年十一月二日ノ「ランシング」石井交換公文ノ地位ニ關シ最近本官ト貴大使館トノ間

ニ行ハレタル商議ニ依リ達成シタル見解ニ付本官ノ了解ハ

閣下ニ通報スルノ光榮ヲ有シ候

尚四月十一日在本邦米国代理大使ヲ招キ交換公文案ヲ手交

ンタル上貴地ニ於テ右交換ヲ終アシタル後一両日ヲ隔テテ

別ニ政府公表文ヲ添付スルコトナク單ニ交換公文ノミヲ公

表スルコトトシ度旨並ニ米国政府ニ於テ差支ナクベ un-

derstanding ハ文字ヲ複数トシ度旨述ヘタル処代理大使ハ

自分ノ解釈ニ拠ルバ該文字ハ複数ノ場合ヲモ cover シ居ル

眞答ヘタルニ付御含置アリタク將又申ス迄モナキ次第ナガ

ラ我方ヨリ送ル公文中 Lansing-Ishii exchange of notes

、 Ishii-Lansing exchange of notes 、 The American

and Japanese Governments 、 The Japanese and Ameri-

can Governments ハ記出ヘリタシ

~~~~~

三七五 四月十一日 加藤内閣總理大臣ヨリ

内田外務大臣宛

内閣總理大臣 加藤友三郎

外務大臣伯爵 内田康哉殿

### 指令

大正十二年四月九日条一機密第七一號

石井「ランシング」交換公文廃棄ニ関シ帝国及亞米利加合衆國間ニ公文書交換ノ件上奏ノ通裁可フ経タリ

(付記)

石井・ランシング交換公文廃棄ニ関スル日米交換公文

米国國務卿ヨリ日本大使宛公文

以書翰致啓上候陳者千九百十七年十一月二日ノ「ランシング」石井交換公文ノ地位ニ關シ最近本官ト貴大使館トノ間

ニ行ハレタル商議ニ依リ達成シタル見解ニ付本官ノ了解ハ

閣下ニ通報スルノ光榮ヲ有シ候

尚四月十一日在本邦米国代理大使ヲ招キ交換公文案ヲ手交

ンタル上貴地ニ於テ右交換ヲ終アシタル後一両日ヲ隔テテ

別ニ政府公表文ヲ添付スルコトナク單ニ交換公文ノミヲ公

表スルコトトシ度旨並ニ米国政府ニ於テ差支ナクベ un-

derstanding ハ文字ヲ複数トシ度旨述ヘタル処代理大使ハ

及亞米利加合衆国政府ハ一千九百十七年十一月一日ノ石井

「ランシング」交換公文ハ廢棄セハレ且今後効力ナキモ

ノト看做スコトニ合意ス

本使ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

一千九百一十九年四月十四日

華盛頓日本帝国大使館ニ於テ

埴 原 正 直

From the Japanese Ambassador to the

Secretary of State.

Japanese Embassy,

Washington,

April 14, 1923.

Sir:

I have the honor to acknowledge the receipt of your note of to-day's date, communicating to me your understanding of the views developed by the discussions which you have recently had with this Embassy in reference to the status of the Ishii-Lansing exchange of notes of November 2, 1917.

I am happy to be able to confirm to you, under instructions from my Government, your understanding

ハ帝国カ支那國殊ニ帝国ノ所領ニ接壤セル地方ニ於テ特殊ノ利益ヲ有スルコトヲ承認スル旨ヲ掲ケ尋イデ帝国ハ右特殊ノ利益ヲ有スルモ他國ノ通商ニ不利ナル偏頗ノ待遇ヲ与ヘ又ハ他國ノ商業上ノ権利ヲ無視スルコトナカルヘキ旨ヲ記シ又兩国政府ハ支那國ノ獨立及領土保全ヲ尊重シ同國ニ於ケル門戶開放又ハ商工業ニ對スル機會均等ノ主義ヲ支持シ何國タルヲ問ハス他國カ此ノ原則ニ抵触スヘキ特權ヲ獲得スルニ反対ナルコトヲ声明スル旨ヲ述ヘタリ然ルニ過般華盛頓會議ニ於テ採用セラレタル支那國ノ又ハ支那國ニ関スル現存容諾ニ関スル決議ニ依レハ支那國ニ関スル一切ノ國際協定ニシテ現在及将来ニ亘リ有効ナルモノハ之ヲ該會議總事務局ニ提出スルコトヲ要スルカ故ニ右決議ノ精神ニ考ヘ今ニ於テ支那國ニ関スル現存國際取極ノ将来ニ對スル効力ヲ定ムルコトヲ妥当ナルニ由リ昨年五月米國政府ハ前記石井「ランシング」交換公文ハ兩国政府ノ合意ヲ以テ之ヲ廢棄セムコトヲ希望スル旨ヲ提唱シ來リタリ茲ニ於テ帝國政府ハ之ニ対シ慎重ナル考慮ヲ加ヘタル上本件協定ノ目的ノ一タル日米国交ヲ傷害スヘキ世上ノ風説ヲ掃拭スルコトハ既ニ其ノ効果ヲ取メタルモノト認ムヘク又其目的ノ

of the views thus developed, as set forth in the following terms:

The discussions between the two Governments have disclosed an identity of views and, in the light of the understandings arrived at by the Washington Conference on the Limitation of Armament, the Japanese and American Governments are agreed to consider the Ishii-Lansing correspondence of November 2, 1917, as cancelled and of no further force of effect.

Accept, Sir, etc., etc., etc.

(Signed) M. Hanihara.

(左記)

石井ランシング交換公文廃棄ニ關シ帝国及亞米利加合衆国間ニ公文書交換ノ件ヲ審査スルニ大

正六年十一月二日米両国代表者タル石井特命全權大使及國務卿「ハハハハク」間ニ交換シタル公文書ハ當時流布セラレタル両國ノ離間中傷ヲ目的トセル有害ナル風説ヲ一掃シ且米國ヲシテ支那國殊ニ滿蒙地方ニ於ケル帝国ノ特殊利益ヲ承諾セシマルノ趣旨ニ注テタルモノリシテ先ツ米國政府

タル支那國ニ於ケル帝国ノ特殊利益ヲ確保スルコトハ華盛頓會議ノ成果タル支那ニ関スル九國條約第一条ニ各國ハ友好好國ノ安寧ニ害アル行動ヲ是認スルコトヲ差控フルコトヲ約定スル旨ノ明文アリ且大正九年十月成立シタル対支新借款團ノ組織ニ關シ英、米、仏ノ各國政府カ滿蒙地方ニ於ケル帝国ノ特殊緊切ノ利害關係ヲ承認シ該借款團ヲシテ右利益ニ反スルカ如キ行動ヲ執ルコトヲ許容セサルヘキ旨ノ一般的保証ヲ帝国政府ニ与ヘタルノ事實アルニ考ヘ必スシモ本件協定ニ於テ之ヲ存続セシムルヲ要セサルカ故ニ米國政府カ之ヲ廢棄ヲ要望スルニ於テハ帝国政府モ亦強テ之ニ反対スヘキ限ニ在ラスト思惟シ此ノ旨意ヲ以テ両国當局者間ニ交渉シ重ねタル結果終ニ最近ニ至リ両国政府ハ前記公文ヲ廢棄シ且之ヲ今後効力ナキモノト看做スコトニ合意スル旨ヲ記載シタル本案ノ公文書ヲ交換スルコトニ内議調ヒタルモノニシテ帝国ニ於テ之ヲ可認セラル最終ノ決定アリタル後両國ニ於テ右公文書ノ署名ヲ了シ之カ交換ヲ実行セムトスルナリ而シテ我當局ニ於テハ始メ支那ニ関スル九國條約効力ノ發生ヲ待チ且対支外交ニ支障ナカルヘキ時機ヲ捉ミテ之ヲ公表スルノ意図ナリソモ數日前端ナクモ米國ニ

## 八 石井・ランシング協定廢棄問題 三七六

四三八

於本件交渉ノ事実漏洩シタルニ由リ寧ロ急進ニ之ヲ公表

スルヲ得策トシ此ノ際直ニ本件公文書ノ交換ヲ実行セムト

スルモノナリ本件交渉ノ成立ニ至ル迄ノ経過等ニ付テハ議

案ニ参照トシテ添付シタル外務省作成ノ説明書ヲ併セテ参

看セラレムコトヲ請フ

按スルニ石井ランシング交換公文ハ上掲支那ニ閲スル九国

条約ノ条項及対支新借款團ノ組織ニ閲スル列國ノ保証アル

カ為ニ果シテ不用ト為リタルヤ否ヤ疑念ナキニアラスト雖

米国政府カ切ニ其廢棄ヲ希望スルニ於テハ帝国政府モ亦之

ニ応諾スルコト蓋シ已ムヲ得サル所ナルヘシト認ム即チ本

案ハ此儘之ヲ可決セラレ然ルヘシト思料ス

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

大正十二年四月十日

枢密院書記官長 一上兵治

枢密院議長子爵 清浦奎吾殿

(欄外註記)

四月十一日枢密院本會議ニテ報告セラレ全院可決セラレタリ

在米國埴原大臣大使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

三七六 四月十一日(着) 在米國埴原大臣大使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

石井・ランシング協定廢棄ニ閲スル交換公文  
ノ字句修正ニ関シ説明ノ件

第二三六号

貴電第一八二号ニ閲シ

understanding ハ本使ト國務長官トノ間ニハ当初ヨリ複數ニテ話ヲ為シ居リ電信ニモ同様複數ト為シアル積リナリシ

次第ニ付右様御承知アリタシ

(欄外註記)

原電再調シタルニ両方トモ単数トナリ居レリ

## 事項九 日米仲裁裁判條約期限延長協約關係

三七七 二月二十七日(着) 在米國埴原大臣大使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

米国ノ國際司法裁判所ヘノ參加ニ閲スル同國  
内ノ動靜報告ノ件

第一三〇号

二月二十四日大統領ハ上院ニ教書ヲ送リ國際司法裁判所ニ正式参加ノ為メ右裁判所設置議定書ノ承認ヲ求メ最後ニ右ハ國際的友誼ニ貢獻セントスル吾人ノ自覺ヲ強メ且世界ヲシテ國際問題ノ安定ニ力ヲ致サントスル吾人ノ態度ヲ認識セシムル所以ナリト結ベリ尚同時ニ参加理由ヲ詳述セル大統領宛國務長官書簡ヲ廻付シタルガ其ノ内参加条件トシテ一、参加ニ依リ米国ガ連盟ト何等カノ法律的關係ヲ生ジ若クハ連盟規約所定ノ義務ヲ負ハスモノト解釈セラレザル可キコト

三、米国ハ議会ノ隨時決定スベキ適當ナル裁判所費用ヲ負担スベキコト  
四、議定書付属裁判所規則ノ改正ニハ米国ノ同意ヲ要スベキコト  
ノ四項ヲ擧ゲ居レリ

新聞所報ニ依レバ右ニ対シ民主党議員ノ間ニハ連盟參加ニ一步ヲ進メタルモノトシテ満足スルモノ多ク又嘗テ連盟ニ反対シタル政府派議員中ニモ賛成者アル模様ナルモ会期切迫セル今期議會中ニ採決スルコト不可能ナリトスル意見強ク結局外交委員会ハ其ノ審議ヲ來議會迄延長スベシト伝ヘラル、又新聞論調ハ一般ニ贊意ヲ表シ「ワールド」ハ余日尠キ今日提議セラレタルハ之ニ依リ本件ニ閲スル輿論氣受ヲ探ランガ為ナリ、政府ノ態度ハ卑怯ナルモ此事ナキニ勝サル、「トリビューン」ハ米国ノConviction ハ政策及共和党ノ政綱ニ一致スト論ジ且、「ポスト」ハ国民ニシテ國際紛議平和的解決ヲ可トスレバ連盟トノ關係ヲ考慮セズ贊成スベント論ジ、「タイムス」ハ提議ノ遲キニ失スル等政

会ニ於ケル一切ノ手続ニ關シ米国ハ連盟加入國ト同等タル可シ

九 日米仲裁裁判條約期限延長協約關係 三七七

四三九